

広報

みなみいず

2020

1

No.595

謹

賀

新

年



新年のご挨拶

南伊豆町長 岡部克仁



新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、令和となって初めての年明けをご家族をはじめとする大切な方たちと清々しくお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、旧年中は町政運営に多大なるご理解とご協力をいただきましたことを改めて感謝を申し上げますとともに、本年も町の未来のためご助言をたまわりますよう心からお願い申し上げます。

さて、令和という新しい時代が輝かしく幕を開けて早、2年目となりました。令和元年は全国各地で大きな災害が発生しました。本町においては人的被害こそありませんでしたが、町民の皆さまは大きな不安を感じられたと思います。地球温暖化の影響で大型化する台風や、線状降水帯による大雨に加えて地震、噴火など、さまざまな災害を想定して備えを怠らず、皆さまの安全・安心のため、しっかりと準備をまいります。令和2年は災害が無く皆さまが安全・安心に暮らせる1年となることを願うばかりです。

そして、本年は待ちに待った東京オリンピック、パラリンピックが盛

大に開催されます。オリンピックは7月24日から8月9日まで33競技、パラリンピックは8月25日から9月6日まで22競技がともに東京を中心に開催され、自転車競技においては県内の伊豆市と小山町が会場となりますので、多くの観光入込客数や流入人口が予想されます。これに合わせて、開催地だけでなく当町をはじめとした伊豆地域全体で盛り上げていきたいと思っています。

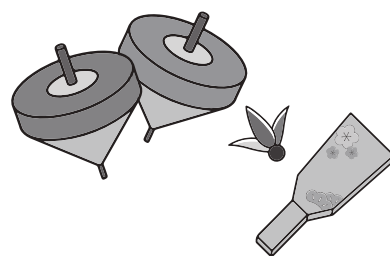
令和2年は^{ねずみ}子年でございます。子は「子、丑、寅……」と始まる十二支の初めの干支で、新しい運気の始まりです。植物に例えると成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、今年は町にとって次へのステップとなる可能性を秘めた大切な年となるでしょう。町民の皆さまに喜んでいただける町づくりを、職員一同「ワンチーム」として進めてまいります。

防災対策

災害時などに関わらず、目まぐるしく変化する局面において迅速で正確な情報伝達が不可欠であり、防災行政無線（同報無線）は各自治体で

規定する地域防災計画に基づき、防災・応援救助・災害復旧などに使用することが主な目的ですが、平常時には一般行政事務に使用できます。このため、防災行政無線を所管する総務省では、デジタル化を推奨しています。

町では移動系のデジタル化は完了済みですが、固定系のデジタル化は多額の費用がかかるため未整備となっていました。このため、令和元年度に設計業務の予算化を行い、複数年にわたる事業を見込んで整備に着手しましたので、防災行政無線が聞こえないなどの問題の解消に努めます。また、津波災害警戒区域（イエローゾーン）の県指定が2月頃を目途に確定する見込みです。ご存知の通り、町では津波避難計画や津波避難対策計画、津波ハザードマップは作成済みのため、本指定を契機にさらなる地震・津波対策の強化を進めてまいります。



子育て支援

子供は国の宝、地域の宝。子育て支援に終わりはありません。町の子育て支援環境の整備推進のため、認定こども園の一園化や、子育て支援センターの拡充整備を進めます。子育て支援センターは平成24年の開設以来、利用者は年々増加し、平成30年度には年間5,000人を超える利用がありました。

現在、利用者数に対して施設が大変手狭となっており、子供たちがのびのびと活動できる環境が必要であると考え、認定こども園敷地内へ移設新築いたします。また、認定こども園の一園化に向けて、園庭・駐車場の拡充や、園舎の改修にも着手してまいります。

小学校教育の試みとして、既に3・4年生は外国語活動が、5・6年生では週2時間の外国語の授業が行われています。また、これからの外国語授業の充実を図るため、町内の全小・中学校の授業時間・休み時間を問わず、ネイティブの外国語指導助手が毎日校内にあり、外国語を学びやすい状況にします。外国語指導助手の常駐により、外国人コンプレックスや日常の英会話を行うためのより実践的な英会話が習得出来るものと考えます。

この事業は2年にわたり、伊豆半島サミットにて、知事などに訴えてまいりました。

また、自治体国際化協会の語学指導などを行う外国青年招致事業（通称JETプログラム）を活用することから、国の財政支援を受けることができます。

外国語指導助手の方を学校以外の町内各所で見掛けることがあるかと思いますが、町民の皆さまには温かくお迎えし、お声をかけて下さいま

すようお願い申し上げます。

また、国際交流の分野では台湾教育旅行が4年目を迎えます。さまざまな台湾の高校が「南伊豆町」に関心を抱き本町を訪れました。本町からも多くの町内高校生が訪台し、ホームステイを通じて交流を深め、今でもSNSでのやり取りが続いていると聞いています。これからはもう少し交流内容を掘り下げ、進路に繋がる交流事業として進めて行ければと考えております。

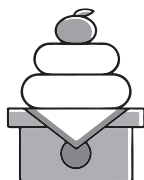
これらの事業を通じて、国際的な人材育成、伊豆地域の国際化にも本町の子供たちが活躍してくれることを期待しております。

高齢者の交通支援

本町は広範囲に集落が点在し、生活に必要な移動手段として最も重要なものが自家用車ですが、さまざまな理由により運転をやめるという選択をされる方が増えています。

また、公共交通機関の路線バスも運行していますが、バスは乗降が大変、バス停までが遠い、本数が少ないなどの理由で不便さを感じている方も多いようです。

このため、高齢者の外出支援の取り組みの1つとして、「元気なシニア」が「支援を必要とするシニア」を支える仕組みづくりや、誰もが暮らしやすい町づくりを目指す中で、高齢者の移動・外出支援セミナーを、昨年開講しました。この事業は、県との共催事業で高齢者の移動、外出支援の実施に向けての問題点、解決策などを協議し、モデル事業が展開出来るよう実用化に向けて取り組んでまいります。



観光振興

昨年4月1日に、多くの皆さまの期待の下、石廊崎オーシャンパークがオープンいたしました。

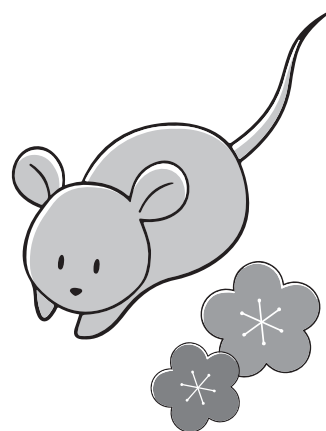
10日間のゴールデンウィーク中には16,000人を超える来客数で、年末までには約12万人の方が訪れ、伊豆半島最南端の絶景をご堪能頂きました。現在、駐車場に隣接する芝生広場を整備しており、完成後はさまざまなイベントなどを開催して賑わいを演出していきます。

特に秋の伊勢海老まつりは観光客だけでなく町民の皆さまにもご参加いただける企画としていきたいと考えております。

「ねずみ年」は「寝ず身」となるよう、真面目にコツコツと働き儉約もしていく、まさに今年の南伊豆町の歩むべき姿であります。

厳しい財政状況ではありますが、町民の皆さまの負託に応えるよう本年も邁進してまいります。

本年が皆さまにとって災いがなく健康で素晴らしい年となることを心から祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願いまウス。



12月定例町議会



令和元年南伊豆町議会12月定例会が12月3日(火)、4日(水)の日程で開催されました。

行政報告（要旨）

再生可能エネルギー農山村活性化の取り組み

10月25日に令和元年度第2回南伊豆町再生可能エネルギー農山村活性化協議会が開催され、発電事業者から提出された木質バイオマス発電設備整備計画の認定申請にかかる報告が行われ、同協議会にて確認されました。

稼働までのスケジュールは、売電開始を令和3年春としており、経済産業省への事業認定申請のほか、東京電力との売電時期の前倒し交渉なども迅速に進めるとのことです。

また、原料となる木質チップ加工場については、木質チップの必要量が1日4トンと少量であることや、近隣住宅への騒音配慮から当該予定地以外に整備し、移動式チップターの活用で必要量を確保したのち発電プラントに搬入する方式を林業者と調整しております。

第16回 フェスタ南伊豆

10月20日に南伊豆町役場を会場とし「第16回フェスタ南伊豆」が開催され、天候にも恵まれた中で多くの来場者で賑わいました。

中でも、例年好評をいただいでい

る塩尻市からの新鮮な野菜、果物、ワインの販売には、今年も長い行列ができていました。

また、下賀茂商店街では南伊豆中学校の生徒有志によるソーラン節のほか、杉並区の「高円寺阿波おどり連」や本町の「ゆうすげ連」による阿波おどりの披露され、多くの方に楽しんでいただきました。

杉並区との交流に端を発した阿波おどりの披露は、今年で5回目となり、「フェスタ南伊豆」の中心的イベントとして定着しつつありますので、今後も「ゆうすげ連」との交流と連携の絆を確かなものとすべく努めてまいります。

加えて、昨年に引き続き参加してくださった富岳太鼓では、本部前での壮大な太鼓演奏が披露され、迫力ある演奏に魅了されました。

高齢者の移動・外出支援体制の実用化に向けて

町の高齢化率は45.6%で、県内でも上から5番目に位置付けられており、高齢化の流れはさらに加速するとされています。

このような状況の中、近年では買物や外出の際の「足」の確保で困っている高齢者が増加しており、大きな社会問題とされています。

このため町では、高齢者の移動・外出支援の取り組みのひとつとして「元気なシニア」が「支援を必要と

するシニア」を支える仕組みづくりや、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指す中で、高齢者の移動・外出支援セミナーを開講しました。

この事業は県との共同開催事業で令和2年1月までに全4回の開催を予定し、初回の10月24日のセミナーには25人の参加がありました。

セミナーでは、要介護者・要支援者の多くが日常生活に必要な買物、金融機関、通院などの移動に際し、近所の方や親戚を頼りに自家用車による送迎を受けていること、路線バスなどの公共交通は停留所までが遠く乗り降りに介助が必要なこと、利用料金が高いことなどといった現状報告をもとに、ワークショップ形式による「地域の現状・高齢者のニーズ」をまとめ、町の「高齢者の移動・外出支援」についての現状分析や共通認識を深めたところであります。

12月19日には、移動・外出支援を展開している先進地として、神奈川県横浜市の住民主体で運営している「^{さくらやま}左近山おでかけワゴン」や、東京都町田市で社会福祉法人が主体となる「くらちゃん号」を視察し、令和2年1月23日のセミナーでは「移動・外出支援の実施に向けての問題点・解決策」などの意見交換を予定しております。

セミナー終了後の令和2年2月には運転ボランティア養成研修を実施し、令和2年度中に町内でモデル事

業が展開できるようその実用化に向けて事業を推進します。

津波災害警戒区域指定に向けて

津波災害警戒区域とは、津波のリスクが周知され、津波から逃げるための警戒避難体制が整備・強化された区域のことです。

県では今年度中を目途とし、町の同意を経て法律に基づく「津波災害警戒区域」の指定を目指しており、8月には行政協力員会で行政協力員への説明を行い、11月には南伊豆東小学校体育館および三坂地区防災センターで住民説明会が開催され、津波災害警戒区域の概要と、指定後における防災対策などにかかる詳細な説明が行われました。

今後は、12月中に当該区域指定案の事前公表が予定されており、翌年1月の県による区域指定に関する意見聴取を経て、2月には津波災害警戒区域の指定が確定する見込みとなっています。

南伊豆町教育文化講演会および第57回芸術祭

9月28日、元静岡県教育委員会文化課県史編さん室指導主事で現在は日本赤十字社静岡県支部に勤務する福原章浩氏を招き、町PTA連絡協議会および教育委員会共催による教育・文化講演会が開催されました。

演題を「記録上最初に北アメリカに上陸した日本人子浦出身音吉の生涯について」と銘打った講演会には教職員、保護者、町内歴史愛好家など約120人が集い、熱心に聴講していたと聞いています。

また、11月1日から4日にかけて町の文化協会と教育委員会が主催する「第57回南伊豆町芸術祭」が湯けむりホールで開催されました。

絵画をはじめ、水墨画、^{ぼくしよ}墨書、写真、生け花、手芸・陶芸の作品など文化協会員、町内の愛好家の方々、福祉関係事業所などからおよそ160点の力作が展示され、来場者の目を楽しませてくれました。

開催期間4日間での入場者は延べ702人で会場は大いに賑わっていました。

芸術祭への出品者の多くは高齢者であり、趣味趣向など夢中になれるものがあるということは精神的にも肉体的にも健康でいられる要因でもあり、町民憲章のひとつである「湯けむりのように高く仰ぐ文化のまちをつくりましょう」とした施策に合致することから、その成果発表の場であるこのような機会を、今後も継続させていきたいと考えています。

商工・観光振興について

(1) 企業誘致事業の取り組み

町営差田グラウンドに隣接する町有地について、公共用地の利活用および適正化を進め、地域活性化に資することが期待でき防災機能も有する「差田地区産業拠点推進区域」として、平成27年度に「ふじのくにフロンティア推進区域」の第4次指定を受けました。

その後、下田市で食品添加物製造工場を経営する株式会社タカラゲンの新工場建設用地として売却し、平成30年8月から新工場建設工事に着手、本年10月には完成セレモニーが行われ、現在は令和元年中の操業開始に向けた機器調整などが行われています。

本町においては、産業振興に加え新たな雇用創出をもって地域活性化に期待するもので、今後も企業立地事業費補助金交付制度を活用した支援体制を継続してまいります。

(2) ふるさと寄附金の状況

10月末現在の「ふるさと寄附」の状況は、寄附件数1,099件、寄附総額は51,397,242円で、前年同月との比較では約3割減となっています。

平成30年4月に返礼割合を5割から3割に変更し、3月の地方税法等改正により新たに創設された「ふるさと納税に係る指定制度」に準拠した取り組みを進めていますが、苦戦を強いられる状況にあります。

今後も、首都圏で開催するイベントでの周知や、ポータルサイトを通じた情報発信を積極的に展開するとともに、前年度寄附者へのダイレクトメールなどで本町の魅力ある特産品のPRに努めるほか、活用目的を

明確にしたクラウドファンディング型の寄附募集などをもって、さらなる寄附者獲得に取り組みます。

(3) 秋季観光イベントの取り組み

秋期観光イベントの実績について報告します。

10月26日から27日にかけてJR東日本による「伊勢海老列車」が運行されました。この事業は「伊勢海老を食す旅」と銘打ち、南伊豆町観光協会とJR東日本、伊豆急行株式会社や株式会社南伊豆東海バスとの連携事業として実施され、約200名の方が参加し、石廊崎オーシャンパークで行われた伊勢えびまつりイベントへの参加や石廊崎灯台の一般開放に伴う灯台内部の観覧、オプションルツアーでは石廊崎遊覧船による伊豆半島先端の景観など本町の魅力ある自然を満喫してもらいました。

また11月16日には青野川ふるさと公園をスタート・ゴールとする「第6回南伊豆町100km・78km・66km みちくさウルトラマラソン」が開催され、過去最高となる685名が出走しました。コース内に設置された19か所のエイドステーションでは、100名を超えるボランティアの方が参加し、温かい「おもてなし」が提供されたほか、温かい日差しの中で本町特有の起伏に富んだ海岸線や山間部のコースをご堪能いただきました。

本大会にご尽力いただきました走路員、競技運営ボランティアを始めとし、沿道で参加者へ声援を送っていただいた町民の皆さまに厚く御礼を申し上げます。



※行政報告は12月3日に開催された12月議会時点でのものとなります

みなみいずの 財政状況

町では、皆さまから納めていただいた税金や地方交付税などが、どのように使われているのかを知っていただくために、毎年の決算額や各基金の状況を公表しています。

問合せ 総務課 財政係 ☎ 6 2 - 6 2 1 1

特別会計決算

特別会計とは、一般会計とは別に特定の歳入を特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出とは区分して運営する会計のことです。国民健康保険や介護保険などをはじめ、財産区や公共下水道などが該当します。

また、特別会計のなかでも水道事業会計は事業収益を持ち、企業方式で経営しています。

(単位：千円)

特別会計名		歳入	歳出
国民健康保険		1,623,261	1,407,394
介護保険		1,251,804	1,199,114
後期高齢者医療		128,074	127,484
南上財産区		310	143
南崎財産区		421	345
三坂財産区		6,536	6,488
土地取得		0	0
指導主事設置事業		34,223	29,537
公共下水道事業		239,986	239,986
子浦漁業集落排水事業		33,301	33,301
中木漁業集落排水事業		7,774	7,774
妻良漁業集落排水事業		15,858	15,858
水道事業	収益的収支	327,609	309,450
	資本的収支	89,691	226,982



一般会計決算

平成30年度一般会計決算の概要

●歳入

平成30年度における一般会計の歳入総額は、53億616万円で、前年度と比べて4億3,050万円の減でした。

歳入総額に占める割合は、町税や手数料、寄付金などの自主財源が35.3%と歳入総額の3割弱しかなく、地方交付税や国県支出金などの依存する財源の割合が64.7%と高い状況にあります。

●歳出

平成30年度における一般会計の歳出総額は、51億2,953万円で、前年度と比べて2億6,262万円の減でした。

これは、「健康福祉センター建設工事」や「石廊崎ジャングルパーク跡地内温室等解体工事」などの大規模な工事が平成29年度で終了したことが主な要因です。

※「平成30年度一般会計決算の概要」数字については、千円単位四捨五入で表示

町民1人あたりの支出内訳	衛生費 65,917円 	消防費 37,792円 
議会費 7,272円 	農林水産業費 14,499円 	教育費 42,519円 
総務費 174,470円 	商工費 19,645円 	災害復旧費 7,181円 
民生費 138,419円 	土木費 65,110円 	公債費 47,583円 

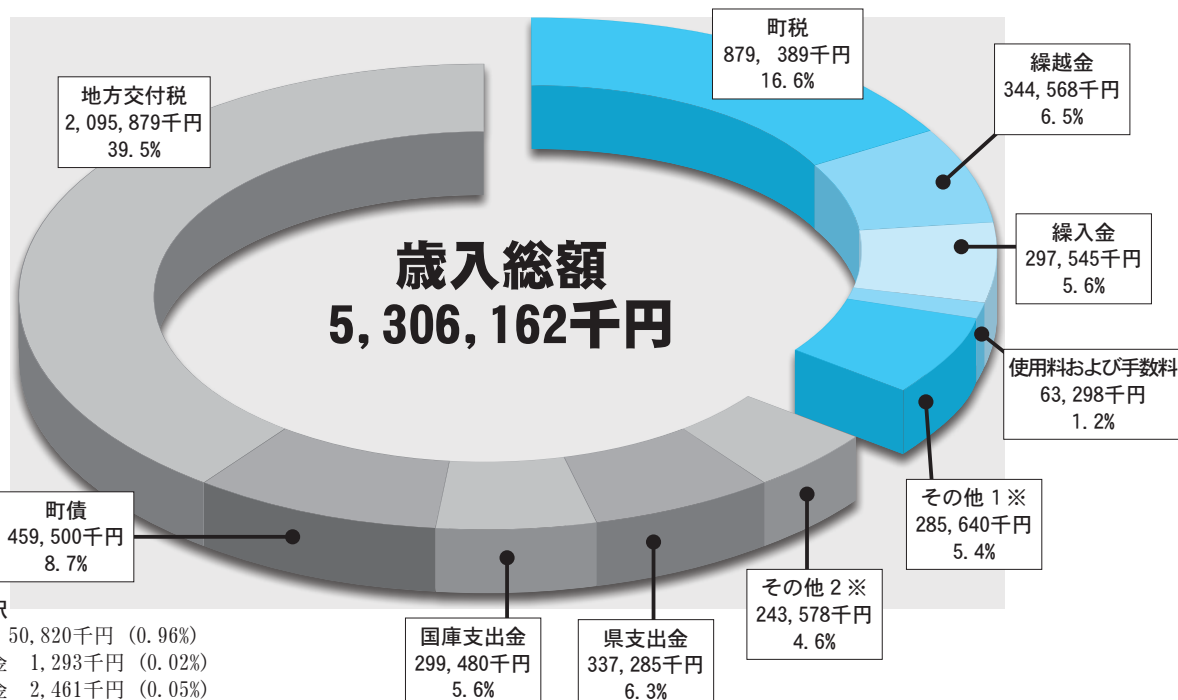
※人口8,268人（平成31年4月1日現在）で算出しています

一般会計決算の構成

歳入決算構成比

依存財源(64.7%)

自主財源(35.3%)



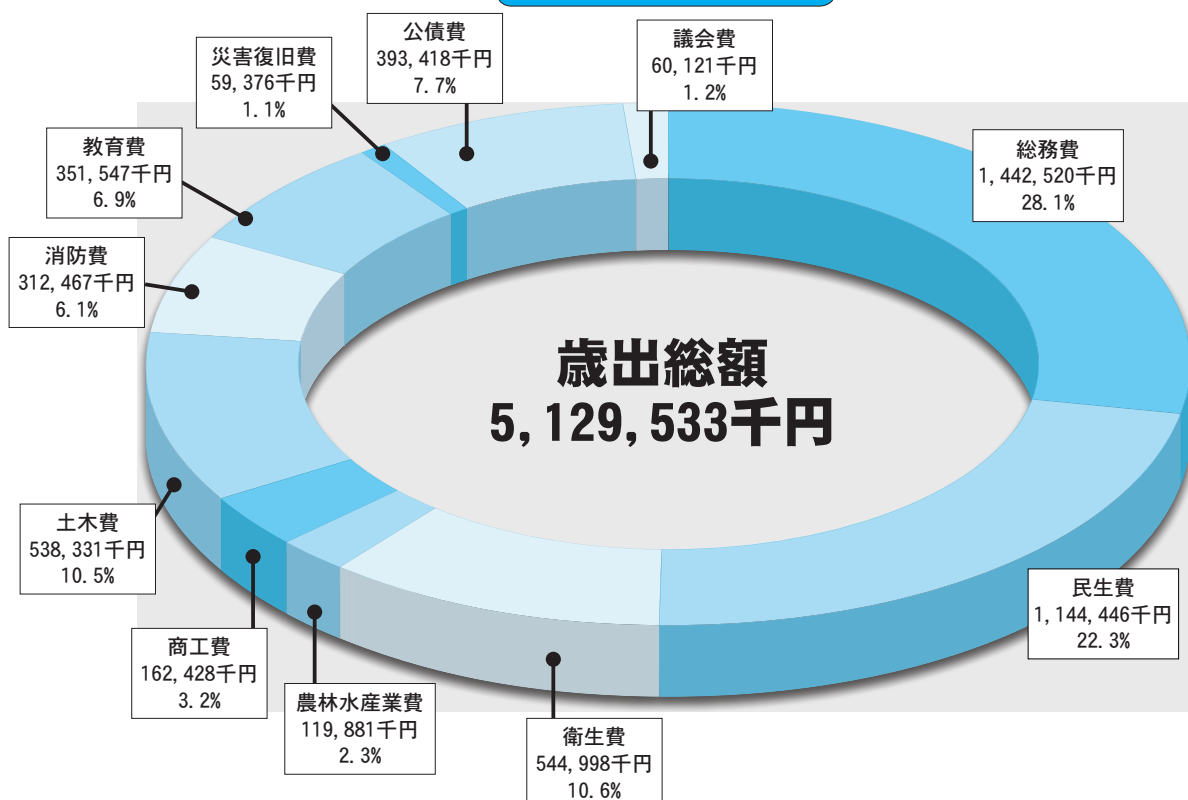
※その他2内訳

地方譲与税 50,820千円 (0.96%)
 利子割交付金 1,293千円 (0.02%)
 配当割交付金 2,461千円 (0.05%)
 株式等譲渡所得割交付金 2,454千円 (0.05%)
 地方消費税交付金 156,066千円 (2.94%)
 ゴルフ場利用税交付金 8,321千円 (0.16%)
 自動車取得税交付金 19,604千円 (0.37%)
 地方特例交付金 1,831千円 (0.03%)
 交通安全対策特別交付金 728千円 (0.01%)

※その他1内訳

分担金および負担金 20,245千円 (0.38%)
 諸収入 78,480千円 (1.48%)
 寄付金 172,543千円 (3.25%)
 財産収入 14,372千円 (0.27%)

歳出決算構成比



各基金の状況

(単位：千円)

基金とは、計画的な財政運営や特定の目的を遂行するために積み立てるもので、一般家庭における預貯金に相当するものです。

「財政調整基金」とは、経済事情の著しい変動により不足した財源や本年10月に発生した台風19号による被害のような災害により生じた経費などの財源に充てるための基金です。

その他にも、庁舎建設や観光施設の整備など特定の目的に活用するための「特定目的基金」や事業を行う際に必要な土地を取得するために活用する「土地開発基金」などがあります。



区分		平成29年度末 現在高	増減額	平成30年度末 現在高
財政調整基金		1, 260, 879	▲219, 258	1, 041, 621
減債基金		3	0	3
特定 目的 基金	庁舎建設基金	39	20, 000	20, 039
	観光施設整備基金	25, 466	▲12, 749	12, 717
	福祉振興基金	1, 076	0	1, 076
	スポーツ振興基金	31, 000	▲2, 298	28, 702
	ふるさと創生基金	15, 472	0	15, 472
	ふるさと水と土基金	10, 000	0	10, 000
	交通安全対策推進基金	19, 562	▲1, 650	17, 912
	石垣りん文学記念基金	5, 648	▲199	5, 449
	ふるさと応援基金	284, 971	197, 976	482, 947
	公共施設整備基金	300, 793	90	300, 883
	文化財保護基金	500	0	500
	町営温泉施設整備基金	4, 468	2, 752	7, 220
土地開発基金		3, 954	0	3, 954
計		1, 963, 831	▲15, 336	1, 948, 495

平成30年度決算に基づく健全化判断比率

健全化判断比率とは「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で定められた自治体財政の健全度を測る4つの財政指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）の総称で、それぞれの指標について早期健全化基準値と財政再生基準値が設定されています。基準値を下回っている場合は、財政が健全であるといえます。

算定の結果、当町は今のところいずれの数値も基準内に収まっています。しかし、石廊崎オーシャンパークの整備や、健康福祉センターの建設などの実施に伴い、地方債残高は増加し、併せて公債費も増加していくことが確実であること、また、基金についても新規にまとまった金額を積み立てることは難しく、国・県の財政状況や災害の発生などによっては、財政調整基金を始めとする基金の取り崩しをせざるを得ない状況がいつ訪れてもおおしくない状態にあります。

このように財政状況は厳しく、先行きが不透明となる要素もあることに変わりはないため、実質公債費比率や将来負担比率の上昇を抑える施策を模索するなど、健全な財政運営に努めてまいります。

言葉の意味

実質公債費比率

財政の規模に対する借入金の返済額や、これに準じる負担金などの割合

将来負担比率

財政の規模に対する将来負担すべき負債の割合

■健全化判断比率

(単位：%)

		実質赤字 比率	連結実質 赤字比率	実質公債費 比率	将来負担 比率
早期健全化基準値		15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準値		20.0	30.0	35.0	—
町の 数値	平成30年度	—	—	7.7	32.1
	平成29年度	—	—	7.6	38.3
	平成28年度	—	—	7.8	35.9

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、赤字でないため町の数値はありません

問合せ 総務課 財政係 ☎ 6 2 - 6 2 1 1

11/16 秋の南伊豆を走る



100km・78kmコース参加者たちが一斉にスタート

第6回南伊豆町100km・78km・66kmみちくさウルトラマラソンが行われ、参加者は過去最多の685名となりました。参加者たちは町内の各地で提供されるエイドに舌鼓を打ちながら、秋の南伊豆を満喫しました。

11/19 サッカーで体力作り



サッカーを教わる園児たち

南伊豆認定こども園で、アスルクラロ沼津のコーチによるサッカースクールが行われました。スクールは楽しみながら体力づくりに取り組んでもらうことを目的に実施されており、園児たちは楽しく元気にグラウンドを駆け回りました。

11/30 敢闘、市町対抗駅伝



草薙陸上競技場にて記念写真

第20回記念市町対抗駅伝が行われ、町の代表選手たちが静岡県庁から草薙陸上競技場までタスキをつなぎました。結果は昨年よりもタイムが縮まり、町の部10位と前年より順位が上がったほか、区間賞を受賞しました。

11/18 育てたお米の食味試験



実際に炊いた米を食べ比べる児童たち

南上小学校4年生が、自分たちで育てた愛國米と町内で収穫された米3種の計4種の米を炊き、食味試験を行いました。生徒たちは香りや味、米粒の形状などを比較し、愛國米と他の米との違いについて学びました。

11/20 健康な身体を維持しよう



講師から食事の重要性を教わる児童たち

南伊豆東小学校で、東京大学未来ビジョン研究センターによる生活習慣病予防講座が行われました。朝食や食事における栄養バランスの重要性について教わった児童たちは、どのような食事がバランスの良い食事か考え、発表しました。

12/4 ヤシの木、越冬準備完了



職人によるコモ掛けの様子

奥石廊崎にて、冬の厳しい寒さに備えるため、ヤシのコモ掛けが行われました。海から吹き付ける強い西風の中、県道沿いに植わっているヤシ47本のコモ掛けが終わり、冬を迎える準備が整いました。

図書館だより

開館時間 8:30～17:15
休 館 日 月曜日・木曜日・祝日
☎ 62-7100 FAX 62-1402

今月のおすすめ



「ベストセラー伝説」
本橋信宏／新潮社

60年代から70年代にかけて、前代未聞の企画で若者を熱狂させた数々の雑誌や書籍が生み出された舞台裏に迫る郷愁のノンフィクション。



「祝祭と予感」
恩田陸／幻冬舎

心に響く生命力に満ちたピアノの旋律。傑作、「蜜蜂と遠雷」の待望のスピノフ短編集。ピアノコンクールを舞台にした爽やかな感動がここに蘇る。



「老犬たちの涙」
児玉小枝／KADOKAWA

家族に捨てられ、施設に収容された老犬は、引き取り先も見つかりにくく殺処分を待つだけだという。その実態と命の尊さを訴える渾身のルポ。



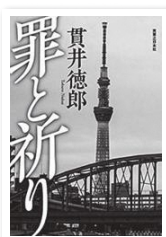
「背中の蜘蛛」
誉田哲也／双葉社

迷宮入りと思われた殺人事件を解決に導いた裏には…。捜査手法に疑念を抱いた警察官が辿り着いた真相とは？新時代を告げる驚愕の警察小説。



「新しい腸の教科書」
江田証／池田書店

心と体のあらゆる問題は腸に通ずる！カリスマ胃腸専門医が「謎多き臓器」と言われる腸の全てを徹底解剖。明るく未来は健康な腸とともに！！



「罪と祈り」
貫井徳郎／実業之日本社

事故で父を失った息子が、その死を不審に思い真相を追うと信じがたい父の過去に行き着いた。男たちの絆と葛藤を描く儚く切ないミステリー。



「時間は存在しない」
カロ・ロヴェッリ／NHK出版

ホーキング博士の再来と評される天才物理学者が、従来の時間の概念を覆し、新たな時間の捉え方を指し示す刺激に満ちた衝撃の科学書。



「逃亡小説集」
吉田修一／KADOKAWA

行き詰まりの人生にけりをつけるには逃亡するしかなかった…。アイドル、教師、中年男。果たして安住の地に辿り着けるのか？暴走あるのみ！



「グリーンウッドワーク」
久津輪雅／学研プラス

森から伐採したばかりの瑞々しい生木を使って身近な生活用品を作り上げる、欧州発祥の木工の魅力とテクニックを詰め込んだ本邦初の解説書。



「飛べないカラス」
木内一裕／講談社

「娘が幸せかどうか確かめてきてほしい」 刑務所帰りの男に舞い込んだ奇妙な依頼。金、女、仕組まれた過去…。一気読み必至の痛快娯楽小説。

－新着図書案内－

夫のトリセツ	黒川伊保子
捨て本	堀江貴文
孟司と誠の健康生活委員会	養老孟司・近藤誠
走れ！ダンボルギーニ！！	今野英樹
必死すぎるネコ	沖昌之
高倉健、その愛。	小田貴月
希林さんといっしょに。	是枝裕和
星と龍	葉室麟
本意に非ず	上田秀人
ツナグ想い人の心得	辻村深月
人間	又吉直樹
人を乞う	あさのあつこ
渦	大島真寿美
大人の流儀9	伊集院静
老人の美学	筒井康隆

－図書館利用案内－

2019年のベストリーダーは？

2019年、最も多く読まれた本の発表です。

あなたは何冊読みましたか？

★小説・エッセイ

- | | | |
|----|--------------|-------|
| 1位 | 昨日がなければ明日もない | 宮部みゆき |
| 2位 | エムエス | 今野敏 |
| 3位 | キンモクセイ | 今野敏 |

★実用書

- | | | |
|------|--------------|------|
| 同率1位 | いとおしむ暮らし | 内田彩仍 |
| | かみさまは小学5年生 | すみれ |
| | 体を整える、わたしの習慣 | 白澤卓二 |
| | 一切なりゆき | 樹木希林 |
| | 年を重ねて、今がいちばん | 下重暁子 |

健康レシピ

ぽかぽか粕汁



ここがポイント!

電子レンジ加熱時間の目安
は600Wで2分30秒です



▷ 材料4人分

栄養価

エネルギー：94kcal タンパク質：6.0g 脂質：1.2g 塩分：1.1g

酒粕……80g

水……40ml

ちくわ……小1本半

こんにゃく……70g

里芋……2個

ニンジン……1/2本

小ネギ……適量

だし汁……650ml

油……小さじ1/2

A
おろしショウガ…小さじ1
味噌…小さじ2
醤油……2/3
塩……少々

▷ 作り方 ◁

- ①こんにゃくを適当な大きさにちぎり、里芋を1cm厚さの輪切り、ちくわを乱切り、ニンジンを1cm厚さの半月切り、小ネギは小口切りにする
- ②酒粕はちぎって分量の水を加えてラップをし、電子レンジで加熱する
- ③鍋に油を熱し、ちくわ、こんにゃく、里芋、ニンジンを炒め、だし汁を加えて煮る
- ④火が通ったら、Aと溶いた酒粕を加え1分煮る
- ⑤器に盛り、小ねぎを散らす

なすみかい

南豆味会（健康づくり食生活推進協議会）

問合せ 健康増進課 ☎62-6255



石廊崎オーシャンパークのSNS
アカウントができました

「石廊崎オーシャンパーク」の知名度向上を図る



石廊崎オーシャンパーク初のクリスマスをいうろ男爵自ら装飾となって盛り上げていました。

Twitter ID: @notia_irozaki

Instagram ID: irozakioceanpark

こんにちは。地域おこし協力隊の堤亮介です。南伊豆に来て3か月が経ちました。まだまだ分からないことも多いですが、少しずつ勉強しています。

さて、私の活動のメインとなる石廊崎オーシャンパーク（石廊崎OP）の企画・運営ですが、現在「石廊崎OPがあるのは知らなかったけど、通りすがりにあったから寄った」というお客様が多く、まだまだ知名度が上がっていないのが現状です。

そこで、まずは伊豆半島内の観光施設全般へパンフレット配布という地味ですが一定の効果が見込める活動をコツコツと実行しております。今後、パンフレットの設置場所を管理し、出来るだけ多くの施設に置いてもらえるよう努力

していく予定です。また、SNS（ツイッター・インスタグラム）も開始しました。石廊崎OPをメインに町の魅力を随時アップしています。

頑張って投稿していますので、ぜひフォローをお願いします。

さて、半分プライベートなお話ですが、最近落ち着いてきたので休日に青野川沿いを散歩してみました。石廊崎OPのツイッターにもアップロードしたのですが、桜の「狂い咲き」なるものに初めて遭遇し、気になったので道行く方にお聞きしたところ、4～5年前から狂い咲きするようになったとのこと。何にせよ南の桜の満開が待ち遠しいです。

地域おこし協力隊 堤

お知らせ

えぷろんサービス従事者 養成研修会参加者募集

日時

第1回 1月21日(火)

第2回 1月28日(火)

各10:00~11:30

場所 健康福祉センター1階相談室

内容

第1回 介護保険制度の概要、高齢者の特徴と接し方など

第2回 えぷろんサービスの内容説明、活動上の注意点など

対象者 町内在住の18歳以上の方

申込方法 電話による申し込み

申込期限 1月17日(金)

参加費 無料

その他 えぷろんサービスとは、日常的な買い物や掃除、調理などに支障がある高齢者の方を対象に、研修会を受講した方が家庭を訪問し、支援を行うサービスです。受講後、希望者は社会福祉協議会またはシルバー人材センターにて活動に従事していただきます

申込・問合せ 地域包括支援センター
☎36-3335

家族介護者交流会参加 者募集

在宅で介護されている方を対象とし、情報交換や心身のリフレッシュ、介護に関する知識の習得を目的とした介護者交流会を開催します。

日時 1月21日(火)13:30~15:00

場所 健康福祉センター 多目的ホール

内容 体験型介護教室(車いすでの段差の乗り越え方や車いすからベッドへの移乗方法など)、介護相談、情報交換会

定員 15名程度

申込期限 1月17日(金)

問合せ 地域包括支援センター

☎36-3335

1月10日は「110番の日」

110番は事件、事故などの緊急時のためのものです。

緊急性の低いと思われる、相談や照会などは、お近くの交番、警察署または、☎「#9110」にお問い合わせください。

問合せ 下田警察署 ☎27-0110

町営住宅入居者募集

●上賀茂住宅 2戸

住宅概要 居室4室、台所、トイレ、浴室有り

家賃 20,100円から39,500円

●中木住宅 1戸

住宅概要 居室3室、台所、トイレ有り

家賃 12,500円から24,500円

※家賃は全て公営住宅法に基づく入居要件

①町内に住所または勤務場所を有すること

②住宅に困窮していること

③同居の親族がいる

④税金などの滞納がない

⑤世帯の課税所得の月額が158,000円を超えないこと(高齢者世帯などについては214,000円を超えないこと)

⑥暴力団員ではない

入居可能日 3月下旬(予定)以降

受付期間 1月6日(月)~2月28日(金)

申込方法 役場2階 地域整備課窓口までお越しください

申込・問合せ 地域整備課 公共管理係
☎62-6277

猫の避妊去勢手術費補助金交付申請受付終了

町内の飼い主がいない猫の増加および猫による糞尿などの環境被害防止を目的とした、猫の避妊去勢手術費補助金について、本年度の交付申請受付は終了しました。飼い主がいない猫の増加および猫による環境被害防止にご協力いただき、ありがとうございました。

問合せ 生活環境課 生活環境係
☎62-6270

南伊豆くらし図鑑

日時 1月25日(土)13:30~17:00

内容 森のアトリエで器を作り、天神原で陶芸家として活動する柴山さんの日常を体験する

申込期限 1月20日(月)

申込方法 QRコードを読み取り、専用の申込フォームから申し込み

問合せ 地方創生室

☎62-1121



南伊豆臨海学園嘱託職員 の募集

横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園の指定管理者である横浜市体育協会の嘱託職員を募集します。

採用職種 嘱託職員(一般)

採用予定人数 2名

応募資格 高等学校以上を卒業した方、または令和2年3月までに卒業する見込みの方

応募方法 エントリーシートを横浜市体育協会ホームページからダウンロードし、必要事項を記入して写真添付の上、郵送

応募期限 2月25日(火) 必着

職務内容 施設利用者・宿泊者への対応、カッター・カヤックおよび野外活動指導、野外活動プログラムの企画立案・実施、施設の管理・運営、経理などの事務、その他勤務地 横浜市少年自然の家 南伊豆臨海学園(南伊豆町子浦1437)

勤務時間 1日あたり実働7時間45分勤務。ただし、施設の利用状況により、交代制勤務や宿直勤務があります

雇用期間 4月1日(水)~令和3年3月31日(水)

給与等 月額報酬のほか、超過勤務手当、通勤手当、宿直手当、期末・勤勉手当等を支給

申込・問合せ 〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町六丁目81番地 公益財団法人横浜市体育協会 採用担当

☎045-640-0011

職務内容に関する問合せ

南伊豆臨海学園 ☎67-0255

第13回伊豆農業研究センター公開デー開催

日時 2月1日(土)9:30~15:00

場所 伊豆農業研究センター(賀茂郡東伊豆町稲取3012)

内容

①研究施設(温室、ほ場)の公開

②カンキツ類新品種の食味アンケート調査

午前の部 10:00~11:00

午後の部 13:30~14:30

③試験研究新技術展

④農産物販売(切り花、みかん、わさび、いちご、加工品など) 9:30~15:00

問合せ 伊豆農業研究センター

☎0557-95-2341

メディカル通信

新年の挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

令和の時代になって初めての新年を、健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は台風、大雨が全国各地に大変な被害をもたらし、長期間停電した地区があるなど、影響は少なくありませんでした。

異常気象で大規模な自然災害が多くなった昨今では、地域の中核病院である当院は災害時の備えがいよいよ大切となってきていますので、昨年11月には大量傷病者受け入れ訓練を行いました。

当院に課せられた最も重要な使命は、平時の救急医療を主とした一般診療であり、こちらについて



も注力し、救急車の受け入れ台数も去年は過去最高となりました。

「メディカル」は皆さまの心の拠り所になったのではと喜んでおります。

平時はもちろんのこと、本年は万が一の災害時にも、皆さまのご期待に応えられるよう、職員一同頑張っておりまいますので、これまで同様のご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

下田メディカルセンター院長
畑田 淳一

問 下田メディカルセンター
☎ 25-2525

戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
青市	渡邊 すず	10.4	正太郎・菜々子
下賀茂	千井野 芭奈	10.29	聡・真央
湊	進士 怜勇	11.12	勇介・綾香

結婚お幸せに

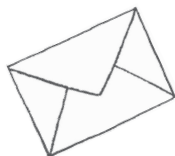
	お名前（旧姓）	婚姻日
湊	木下 賢太郎・麻衣(富田)	11.22

お悔やみ申し上げます

地区	氏 名	年齢	月 日
湊	鈴木 耀子	84	11.3
市之瀬	山本 日勝	82	11.17
一條	清水やすゑ	93	11.20
川合野	大野 君代	85	11.20
吉祥	日下部宏行	78	11.25
加納	大熊よう子	89	11.29

令和元年11月1日から11月30日までに
届け出のあったもの（敬称略）

※このコーナーに掲載を望まない方は、
戸籍届出の時にお申し出ください。



姉妹都市だより 長野県塩尻市

第2回奈良井宿灯明まつり

冬の奈良井宿を幻想的な景色で彩る「奈良井宿灯明まつり」が今年も開催されます。

会場の奈良井宿は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれており、約1kmにわたって江戸時代の面影を色濃く残す古い町並みが続きます。

そんな奈良井宿で、地元の小学生や高校生、地域住民などが制作した切り絵や書、約600点を200基の灯籠にはめ込んだものが街道沿いに展示され、日本最長の宿場町である奈良井宿は幻想的な景色に包まれます。

このほかにも、フォトコンテストの開催や、22日（土）18時から「Shiojiriワインバー」も開催され、塩尻産ワインを味わうことができます（有料）。

幻想的な奈良井宿に、ぜひお越

しください。

■日時 令和2年2月21日（金）～
23日（日） 18：00～20：30

■場所 奈良井宿

問 奈良井宿観光案内所
☎ 0264-343160



人の動き

（12月1日現在）

世帯数 3,892世帯
人 口 8,190人（-13）
男 3,916人
女 4,274人

-----（11月中）-----

転 入 12 転 出 17
出 生 3 死 亡 11

1月は、町県民税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。

税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。



まちの人

社会を明るくする運動 作文コンテスト
静岡県校長会会長賞 受賞

南上小学校 5年生 菊池 志優 さん

僕は4年生の時に自ら進んで地区のあいさつリーダーになりましたが、僕にとって知らない人にあいさつをするのは勇気があることで、正直なところ、恥ずかしさもありました。

しかし、勇気を出して知らない人にあいさつを試みたところ、あいさつをされた人も笑顔であいさつを返してくれて、僕はとても嬉しくなりました。また、テレビで「空き巣に入ろうとしていた人が近隣の人にあいさつされ、空き巣に入れなかった」と

いうニュースを聞き、あいさつが犯罪を防ぐ効果があると知って驚きました。

そこで僕は、このようなあいさつの「強さ」と「意味」を知ってもらおうと思い、作文コンテストに応募しました。応募の結果、特別賞の静岡県校長会会長賞を受賞したと聞いた時は、気絶しそうになるほど嬉しくなりました。

今後もあいさつの持つ「意味」をしっかりと考えながら、あいさつを続けていきたいです。

健康一ロメモ

ヒートショックにご注意を！



ヒートショックとは、急激な温度変化による血圧の急変をきっかけに起こる健康被害のことで、脳卒中や心筋梗塞、失神などを引き起こし、入浴中の溺死や急死につながることもあります。

特に冬場は、暖房の効いた部屋と寒い風呂場やトイレを移動することになるため、ヒートショックのリスクが高まります。

ヒートショックを起こさないよう、次のことを心がけましょう。

- 血圧に大きな変動を与える熱い風呂や長風呂を避ける
- 風呂場やトイレに専用の暖房器具を設置するなど、部屋との温度差をなくす

問合せ 健康増進課 健康増進係
☎ 62-6255

スマイルキッズ



青野田中 ももちゃん（1歳6か月）

「お散歩大好き！ ワンワン・ニャーニャーを見ると大喜びで駆け寄るよ！」

広報みなみいず 1月号

発行日／令和2年1月1日
発行／南伊豆町 編集／企画課 印刷／㈱ 栄協
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<https://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>

編集後記

新年あけましておめでとうございます。令和元年が駆け足で過ぎ去り、新元号の2年目が始まりました。今年も無病息災で広報誌作成に務めたいと思います。

